



おたがいさまでつながる北名古屋



認知症安心ガイド

認知症ケアパス ..1・2 P

認知症とは3 P

早期発見・予防・対応
.....4・5・6 P

認知症の方の支援
.....6・7・8・9 P

若年性認知症10 P

地域包括支援センター
.....11 P



認知症とともに生きる

認知症の人やご家族の視点を大切にして、
認知症になっても、なくても
誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めています。
認知症について正しく理解し
お互いに助け合える地域にしましょう。



北名古屋市

認知症ケアパス～ひとりひとり経過は異なります。今後を見通す参考にしてください～

		認知症の疑い	見守りが必要	手助け・介護が必要	常に介護が必要
本人の様子 (見られる症状や行動の例) *注意* 記載されている症状が必ず出るとは限りません。		● 買い物やお金の管理が不安。 ● もの忘れが気になる。 ● 片付けが苦手になる。	● 薬の飲み間違いがある。 ● たびたび道に迷う。 ● 小銭よりお札を使うようになる。 ● 財布などを盗られたと言う。	● 服の着方が分からない。 ● トイレの場所がわからない。 ● 自宅がわからなくなる。 ● 日時・季節がわからなくなる。	● 声かけや介護を拒むことがある。 ● 車いすやベッドでの生活が増える。 ● 言葉でのコミュニケーションが減る。 ● 食事に誰かの助けが必要。
本人・家族・周りの人が 出来る事 		● 生活習慣を改善し認知症の進行を防ぎましょう。 ● 気になりはじめたら早めに主治医に相談しましょう。 ● 主治医がいない場合や受診を拒否される場合は地域包括支援センターに相談しましょう。 ● 今後の思い（医療・介護・金銭管理など）について本人と一緒に考えましょう。	● 心配なことは一人で抱え込まず相談窓口にご相談しましょう。介護保険サービス利用も選択肢の1つです。 ● 介護者自身の健康管理も大事にしましょう。 ● 介護の不安や悩みを話せる交流会やカフェに参加しましょう。	● 人の助けを借りましょう。さまざまな症状により介護疲れが出てくる時期です。介護者が休息する時間も必要です。 ● 認知症のことを身近な人に伝え、理解者や協力者を作りましょう。	● 本人が安心できる環境を整えましょう。 ● 周りの人の協力を得ながら、家族や周りの人と最期について、話し合いをしておきましょう。
支援の体制	相談をしたい	地域包括支援センター（P11）、かかりつけ医、認知症疾患医療センター（P5）、認知症初期集中支援チーム（P5）、ケアマネジャー			
	元気を維持したい	回想法、地域ふれあいサロン、介護予防教室、老人クラブ、地域の体操教室			
		就労、ボランティア活動など			
		認知症カフェ、（P7・8）介護者の交流の場			
	自宅での生活を 支えて欲しい	介護保険の在宅サービス（訪問介護、訪問看護、デイサービス、デイケアなど）			
		市の見守りサービス（P9）			
		地域の見守り（民生委員、高齢者見守り活動、認知症サポーター（P6）、おれんじスペース（P7））			
		権利を守る（権利擁護センター（P9）、消費生活センター（P9））			
	安心して住みたい	自宅（介護保険の福祉用具・住宅改修）			
		見守りを受けられる高齢者住宅、生活支援を受けられる施設（グループホーム、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム など）			

認知症とは？

「認知症」とは、さまざまな脳の病気により、脳の神経細胞の働きが徐々に低下し、認知機能（記憶、判断力など）が低下して、社会生活に支障をきたした状態(およそ6か月以上継続)をいいます。85歳以上の4人に1人が認知症とも言われており、だれもがかかる可能性のある身近な病気です。

◆ 認知症を引き起こす主な病気

認知症の病気として、代表的なものは次の通りです。

○ アルツハイマー型認知症 もの忘れから始まる場合が多く、ほかの主な症状としては、段取りが苦手になる、服が選べない、薬の管理ができないなどがあります。	○ 脳血管性認知症 脳梗塞や脳出血、脳動脈硬化などが原因で発症する認知症です。物忘れや言葉に障害が現れやすく、早いうちから転びやすくなることもあります。
○ レビー小体型認知症 実際にいない人が見えるなどの幻視や筋肉のこわばり（パーキンソン症状）を伴います。日により症状の程度が変わります。	○ 前頭側頭型認知症 会話中に突然立ち上がったたり、同じ行為を繰り返す、興奮しやすいなど、性格の変化や社交性の欠如が現れやすくなります。

◆ 認知症に似た症状が現れる病気

○正常圧水頭症 ○うつなどの精神的な病気
○慢性硬膜下血腫 ○甲状腺機能低下症 など *早期発見し治療できる病気もあります

◆ 軽度認知症（MCI：Mild Cognitive Impairment）とは

正常と認知症の間ともいえる状態のことです。日常生活への影響はほとんどなく、認知症とは診断できません。MCIの人のうち年間で10～15%が認知症に移行するとされています。認知症になる一歩手前の予備軍の状態ですので、早期発見が大切です。

◆ 認知症になるとどうなるの？

認知症になる可能性は誰にでもあります。私たちと同様、認知症を患った方々の心情も様々です。また、「認知症の本人は自覚がない」という考えも大きな間違いであり、最初に症状に気づき、誰より一番不安になって苦しむのは本人なのです。

認知症の人は理解力が落ちているものの、感情面はとても繊細です。あたたかく見守り適切な援助を受ければ、自分でやれることも増えていくでしょう。認知症という病気を理解して、さりげなく自然で優しいサポートを心がけましょう。

○ ACP(アドバンス・ケア・プランニング)

もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取組を「ACP：アドバンスケアプランニング」と呼びます。自分自身で考えながら、周囲の信頼する人たちと話し合い、共有することが重要です。

早期発見・予防・対応が大切です！

◆ 早く気が付く事が大切な理由

- 早期の診断を受け、症状が軽いうちに、ご本人やご家族が認知症への理解を深め、病気と向き合い、今後の生活への備えができます。
- 治る認知症や、早めに治療すれば改善が可能なものもあります。
- 症状の進行を遅らせる事ができる場合があります。

○ 認知症チェック

（出典：認知症フォーラムドットコム）

何か変だなと思ったらチェックしてみましょう！☒

1	同じことを言ったり聞いたりする	
2	物の名前がでてこなくなった	
3	置き忘れや、しまい忘れが目立ってきた	
4	以前はあった関心や興味が失われた	
5	だらしなくなった	
6	日課をしなくなった	
7	時間や場所の感覚が不確かになった	
8	慣れたところで道に迷った	
9	財布などを盗まれたという	
10	ささいなことで怒りっぽくなった	
11	蛇口、ガス栓の閉め忘れ、火の用心ができなくなった	
12	複雑なテレビドラマが理解できない	
13	夜中に急に起きだして騒いだ	

3つ以上あてはまった方は、専門医の診断をお勧めします。

認知症かな？と思ったら

◆ もの忘れ相談医（北名古屋市内）

病 院 名	住 所	相談窓口電話
新居クリニック	北名古屋市井瀬木鴨72	0568-23-2200
安藤クリニック	北名古屋市西之保才戸26	0568-24-0001
いぶき野クリニック	北名古屋市熊之庄宮地10	0568-26-3600
徳重クリニック	北名古屋市鹿田神明附26	0568-24-3456
ハルクリニック	北名古屋市徳重米野37-1	0568-25-8001
もりメンタルクリニック	北名古屋市西春駅前1-1 パティオ西春2階	0568-21-5568
山田クリニック	北名古屋市熊之庄屋形3377-2	0568-23-0598

（令和5年8月現在）

専門的な対応は？

◆ 市内の認知症疾患医療センター指定病院

- ・認知症疾患に関する鑑別診断
- ・妄想・幻覚・攻撃性・うつなどの症状や、身体合併症への急性期対応
- ・患者・家族などへの相談
- ・地域における医療機関などの紹介
- ・保健・医療・介護機関などとの連携、専門医療相談 など

病 院 名	住 所	相談窓口電話	ホームページ(メール相談もできます)
済衆館病院	北名古屋市鹿田西村前111	0568-21-0811	https://saishukan.com

◆ 県内の認知症疾患医療センター指定病院

(尾張地方・名古屋市のみ)

病 院 名	住 所	相談窓口電話
上林記念病院	一宮市奥町字下口西89-1	0586-80-8261
あさひが丘ホスピタル	春日井市神屋町字地福1295-31	0568-88-0959
愛知医科大学病院	長久手市岩作雁又1-1	0561-61-1878
名鉄病院	名古屋市西区栄生二丁目26-11	052-551-2802
まつかげシニアホスピタル	名古屋市中川区打出二丁目347	052-352-4165
もりやま総合心療病院	名古屋市守山区町北11-50	052-795-3560
八事病院	名古屋市天白区塩釜口一丁目403	052-832-2181

出典：愛知県ホームページ URL: <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiikihoukatu/ninnchisho-shikkan-iryuu-center.html>
(令和5年8月現在)

受診が難しいときは

◆ 認知症初期集中支援チーム（済衆館病院）

チームには認知症サポート医、看護師、作業療法士、社会福祉士がいます。電話や対面での相談だけでなく、自宅に訪問して状況に合わせた支援を行います。まずは各地域包括支援センター、認知症初期集中支援チームにご連絡下さい。

《対象となる方》

認知症の診断をうけていない方、医療や介護サービスを未利用または中断している方、認知症の症状が不安定で対応に困っている方など。

○患者支援センター（済衆館病院内）

電 話 0568-21-1732

開設日時 月～金 午前9時～午後5時

住 所 北名古屋市鹿田西村前111



生活習慣を見直す



◆ 認知症の予防につながる習慣

バランスの
とれた食事

適度な運動

十分な睡眠

社会参加
交流

認知症予防は「認知症にならない」という意味ではなく、「認知症になるのを遅らせる」「認知症になっても進行を緩やかにする」という意味です。

生活習慣を改善することで認知症の発症を抑制する効果があることが分かってきました。動脈硬化症、糖尿病、高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病がある人は治療しましょう。

おだやかに過ごす

◆ 認知症の方への対応のポイントは？

私たちの接し方などを工夫することで、認知症の人の行動は変化する、という視点を持つことが大切です。

○ 3つの “ない”

- ①驚かせない ②急がせない ③自尊心を傷つけない

○ 具体的な対応の7つのポイント

- ①まずは見守る ②声をかけるときは一人で ③余裕をもって対応する
④後ろから声をかけない ⑤やさしい口調で ⑥穏やかにはっきりした話し方で
⑦相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する（認知症サポーター養成講座標準テキストより抜粋）

ただし、このようにご本人に接することは、24時間ともに暮らしているご家族にとっては容易なことではありません。周囲からの様々な支援やサービスの利用が大切です。各地域包括支援センターでは介護をしている人の交流会を毎月開催しています。一人で悩まないで、お近くの地域包括支援センターまでお問い合わせください。

認知症の方やその家族の支援者になりませんか？

◆ 認知症サポーター養成講座

認知症についての知識を深め、認知症になった方への対応や支援の方法を学ぶ講座です。講座終了時にはカード（認知症サポーターの証）をお渡しします。出前講座も行いますので高齢福祉課にご相談下さい。

◆ チームオレンジ

近隣の認知症サポーター等がチームを組み、認知症の人や家族に対する支援等（見守り・声かけ、話し相手、認知症の人の困りごとのお手伝いなど）を行う取り組みです。市内で活動しているチームがあります。

◆ おたがいさまねっとメールの登録・配信

迷い人や認知症に関する講演会などのお知らせを携帯電話やパソコンにメール配信します。二次元コードを読み込むだけで登録ができます。



認知症になっても安心して生活するために

◆ お金の管理に不安があり助けて欲しい、そんな時に

○消費生活相談（消費生活センター：市役所内）

身に覚えのない請求が来た、注文していない健康食品が送られてきた、クレジットや消費者ローンの返済をどうしたら…、少しでも変だなと思ったら迷わずご相談ください。

電話 0568-22-1111（代表）

○日常生活自立支援事業（社会福祉協議会）

日常生活に不安を抱えている認知症高齢者、知的・精神障害を有し、判断能力が不十分な方が、安心して暮らすために、福祉サービスの利用の手続きや日常的金銭管理等の支援を行う制度です。

電話 0568-25-8500

○成年後見制度

（権利擁護センター（市役所東庁舎高齢福祉課内）または各地域包括支援センター）

認知症、精神障害、知的障害など判断能力が十分でない方の権利や財産を守る制度です。権利擁護センターでは、認知症による判断能力の低下等、権利擁護を必要とする方の相談支援を行っています。

権利擁護センター 電話 0568-22-1111（代表）

◆ 外に出て道に迷うようになったら様々な制度を活用しましょう

○徘徊高齢者等事前登録制度

道に迷うおそれのある認知症の方の写真（できれば全身が写っているもの）、緊急連絡先等を登録する制度を市役所高齢福祉課で行っています。登録内容は西枇杷島警察署に情報提供します。検索の際、登録された情報が役に立ちます。

○認知症高齢者等個人賠償責任保険の加入助成について

徘徊高齢者等事前登録を行った方のうち、一定の要件を満たす方に対して、偶然の事故等で損害賠償責任を負った場合などに、保険金を受け取ることができる保険への加入を助成します。

○認知症高齢者等見守りサポート(有料)

道に迷うおそれのある人の衣類や持ち物などに発信機（GPS）を付けることで、行方不明になった際に居場所を特定できるシステムを利用できます。

〔※制度に関する問い合わせ先：市役所 高齢福祉課 地域包括ケア推進室（P11）〕

◆ 実際に居場所が分からなくなったら…

すぐに警察に連絡しましょう 西枇杷島警察署 ☎ 052-501-0110

迅速な対応により、早く安全に見つかる可能性が高くなります。



ご存知ですか？若年性認知症のこと

65歳未満で認知症を発症した場合「若年性認知症」と言い全国に3万5千人と推計されています。症状にあわせたサポートや社会参加を続けるためまずは早期発見・早期受診が重要です。

また、若年性認知症の人やその家族は現役世代であるため病気になることで経済的に困窮するなど、高齢者の認知症とは異なる課題への対応が必要です。



◆今の仕事を続けたい

○配置転換や本人に合った仕事をしたい
→勤務先の上司や人事担当に相談

◆仕事を辞めてしまったけどもう一度働きたい

○障害者の就労支援、障害福祉サービスによる就労支援
→社会福祉協議会

◆経済的な支援を受けたい

○高額医療・高額介護合算療養費
→市役所国保医療課

○自立支援医療
→市役所社会福祉課

○障害年金
→年金事務所や共済組合

○傷病手当
→勤務先の人事部など

○雇用保険（失業給付）
→ハローワーク（名古屋中公共職業安定所）

◆身体を動かしたい、人と交流したい

○認知症カフェ（P7・8参照）
○介護保険（40歳以上で認知症と診断されると申請できます。）
→申請：市役所高齢福祉課
○相談：担当の地域包括支援センター



◆ 若年性認知症の専門電話相談窓口

○愛知県若年性認知症総合支援センター

若年性認知症の特性に配慮した医療・福祉・就労等の総合的支援

電話 0562-45-6207

開設日時 月～土 午前10時～午後3時（祝日・年末年始除く）

○全国若年性認知症コールセンター（フリーダイヤル）

社会資源などの情報提供

電話 0800-100-2707（通話料無料）

開設日時 月～火、木～土 午前10時～午後3時（祝日・年末年始除く）

※水曜日のみ 午前10時～午後7時

お困りごとがあれば、
地域包括支援センターに
気軽にご相談ください。



認知症に関する相談は地域包括支援センターへ

北名古屋市西部北地域包括支援センター

担当地区 石橋・中之郷・宇福寺・北野・法成寺・
鍛冶ヶ一色・徳重・弥勒寺・山之腰
電話番号 0568-54-1113
FAX 0568-54-1114
開設時間 月～金 午前8時30分～午後5時15分
住 所 法成寺ツナギ畑104-1



北名古屋市西部南地域包括支援センター

担当地区 九之坪・加島新田・野崎・沖村・西之保・西春駅前
電話番号 0568-54-5571
FAX 0568-54-5570
開設時間 月～金 午前8時30分～午後5時15分
住 所 西之保深坪67-3



北名古屋市中部地域包括支援センター

担当地区 鹿田・久地野・二子・井瀬木
電話番号 0568-21-1733
FAX 0568-26-2181
開設時間 月～金 午前8時30分～午後5時15分
住 所 鹿田西村前111(済衆館病院西館内)



北名古屋市東部地域包括支援センター

担当地区 熊之庄・六ツ師・片場・高田寺・能田・薬師寺
電話番号 0568-27-2751
FAX 0568-27-2752
開設時間 月～金 午前8時30分～午後5時15分
住 所 熊之庄御榊22(東庁舎西約150m)



<発行元>

北名古屋市役所 東庁舎 高齢福祉課 地域包括ケア推進室

電 話 0568-22-1111 (代表) FAX 0568-26-4477